

平成28年度事業計画

自平成28年 4月 1日 至平成29年 3月31日
公益財団法人 大平正芳記念財団

事業計画概要

公益財団として3つの中核公益事業・「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学
研究センターとの共同事業」、「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」につい
て、個々の公益性にしっかりと留意しつつ、例年事業を着実に遂行する。

1 環太平洋学術研究奨励事業

(1) 第32回大平正芳記念賞 3件に対しクリスタル牌と
賞金 300万円

① 岡本正明氏(京都大学東南アジア研究所准教授)
『暴力と適応の政治学—インドネシア民主化と地方政治の安定』
京都大学出版会 2015年

② 三重野文晴氏(京都大学東南アジア研究所准教授)
『金融システム改革と東南アジア—長期趨勢と企業金融の実証分析』
勁草書房 2015年

③ ロバート・D・エルドリッチ氏(法政大学沖縄文化研究所国内研究員)
『尖閣問題の起源—沖縄返還とアメリカの中立政策』
名古屋大学出版会 2015年

(2) 第32回大平正芳記念賞特別賞 2件に対しクリスタル牌と
賞金 100万円

① 田中祐輔氏(東洋大学国際センター専任講師)
『現代中国の日本語教育史—大学専攻教育と教科書をめぐって—』
図書刊行会 2015年

② 高橋徹氏(日本経済新聞社国際アジア部次長)

『タイ混迷からの脱出—繰り返すクーデター・迫る中進国の罟』

日本経済出版社 2015年

(3) 第30回学術研究助成費 1件 助成費 100万円

【出版助成】 1件 100万円

① 古賀万由里氏(慶應大学、立正大学非常勤講師)

『南インドの芸能的儀礼の民族誌生成する儀礼と神話』

2 北京日本学研究中心との共同事業

「大平コーナー」運営推進事業の一環として

(1) 第12回「日本語優秀学位論文大会」の開催

3 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

(1) 公的機関を通じて故大平正芳の関係資料等の公開を行う事業(平成27年3月末・大平正芳記念館閉館に伴う、同記念館運営事業の後継事業)

① 遺品については、当財団より観音寺市に寄贈、新記念館で公開を行う。新記念館は観音寺市有明町琴弾公園内の世界のコイン館2階(別紙・資料5、P.13)、

(2) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団レポート」発行と無償配布の事業

① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行

ア 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット

イ 「大平正芳記念財団の事業活動」(平成27年6月から同28年5月まで)リーフレット

② 「大平正芳記念財団レポート」第34号の発行